

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営								
1	1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	現場スタッフ全員で理念を作成している。理念を踏まえ年度開始時には各自目標を立て、業務にあたっている。	令和4年の運営推進会議については1度のみの開催となり、他5回については書面での開催の為、十分に話し合う機会を設けられませんでした。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.5票 B.0票 C.1票 D.0票 記述は別紙参照
2	2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍ではあるが、その中でも繋がりが途絶えないよう、感染予防に務めながら屋外である自治会参加の神社清掃に参加し交流を図っている。また、コロナが落ち着いている際は地域の美容室の方に来て頂き、散髪やカラー染め、パーマ等を行って頂いている。	運営推進会議の際、コロナが落ち着いたらボランティア等参加の協力をして頂けるとのお言葉を自治会長様より頂きました	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.0票 B.0票 C.5票 D.1票 記述は別紙参照
3		事業所の力を活かした地域貢献	事業所は、実践を通じて積上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	以前は中学生の職場体験や医大生の教育実習の受け入れを行ったり、地域ボランティアとの交流により認知症への理解、支援に貢献していたが、コロナ禍の影響により開催できなかった。今後状態が落ち着いたら再開していきたい。			
4	3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍の為開催は1度のみとなってしまうが、開催した際には、現状を報告し、今後のボランティアの再開や各種イベントの参加等についてもお話しすることができました。開催できない際は書面での報告は定期的に行いました。コロナが終息または落ち着いた際は改めて開催し直接ご意見を頂きたい。	運営推進会議の際、コロナが落ち着いたらボランティア等参加の協力をして頂けるとのお言葉を自治会長様より頂きました。現在は自治会でもイベントがほぼ中止になっているので、また開催する際は書面にてご連絡頂ける予定。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.0票 B.0票 C.5票 D.1票
5	4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	市の関係部署には運営状況やケアサービスの取り組みや施設の現状等をお伝えし、随時相談、報告を行い、協同連携が図れるよう務めている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.0票 B.4票 C.1票 D.1票 記述は別紙参照
6	5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体的拘束廃止委員会を立ち上げ、身体拘束や虐待にあたる具体的な行為について理解したり、知識の共有を行い、身体拘束のないケアの実践に努めている。身体拘束に関しての内部研修を年2回開催し、全スタッフの知識・技術の向上に努めている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.4票 B.1票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
7		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	事業所内で定期的に身体拘束や虐待防止の知識を学び周知している。日頃から声掛け言葉遣いも職員同士で注意しあうことで、虐待や不適切なケアの防止に努めている。			

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
8		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関係機関(社会福祉協議会など)からの資料を回覧したり、研修に参加しているが、内部研修としての職員研修は行っていない。今後は内部研修を行い、施設全体として知識をつけていけるようにしたい。			
9		契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の面接時や契約時に十分に話し合い、説明をし不安や疑問がないか、個々の立場に立って確認し、理解・納得のもと同意を得ている。また利用中の料金改定は個別に書面を送り、不明点は電話やメール等に対応し、理解・納得のもと書面にて同意を得ている。			
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の来訪時や電話・メール等で入居者様の様子を伝え意見、要望を聞き職員間で情報共有を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.0票 B.6票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
11	7	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれ職員が意見を提案しやすい環境になっている。職員会議、スタッフ会議、サービス担当者会議でも、職員からの意見や提案等を確認している。また、各委員会を設け、職員間の活発な意見を基に気づきやアイデア等を取り入れている。また管理者は職員と個別面談を行い、意見や要望などを言える機会も設けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.4票 B.1票 C.0票 D.0票 未回答:1票 記述は別紙参照
12		就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ会議にて、法人代表者と職員が話し合う場を設けており、職員状況や実績等の報告や職場環境の改善について話す機会を設けている。勤務表づくりにおいては、職員の希望を聞き柔軟な対応を心がけている。			
13		職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策を十分に行いながら、外部研修にも参加している。また、内部研修は全職員が参加できるよう職員会議時に行い、知識とケアの向上に取り組んでいる。			
14		同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県のグループホーム協会に加入している。コロナ渦の為機会は少ないが、研修に参加した職員は研修先で同業者との交流する機会を設けている。また、同法人内ではあるが、介護老人福祉施設、グループホームの職員とお互いの業務内容等について意見交換をすることで、サービス向上に努めている。			

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
15		初期日に築く本人との信頼関係	サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心感を確保するための関係づくりに努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各事業所を訪問して面接に行ったり、入居前にご家族に来所して頂き家族や本人の不安や要望を聞く機会を設けている。また、ケアマネジャーからも情報提供を求め、本人と家族の状況や状況、環境等をできる限り把握し、入居後も情報収集を行い、職員間で周知し、本人が安心して過ごせるよう努めている。			
16		初期に築く家族等との信頼関係	サービスの利用を開始する段階で、家族が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心感を確保するための関係づくりに努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所申し込み時や契約の際に、家族や本人の不安や要望に耳を傾け、しっかりと向き合い、丁寧な説明や助言をすることを心がけている。常に相談しやすい雰囲気作りを心がけている。			
17		初期対応の見極め方と支援	サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	面接時のアセスメントの他、事前に担当ケアマネジャーからも情報提供を求め、本人と家族の状況や状況、環境等をできる限り把握し、「今何が必要か」を見極め、他のサービスも含め検討し対応している。			
18		本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各自居室担当を決め、担当を中心に入居者様から不安や要望を聴く機会を設け、常に自己決定、自己選択ができるよう努めている。また、職員間でも会議や送りノートにて周知し安心して過ごせるよう努めている。			
19		本人を共に支えあう家族との関係	職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍で面会が少なかったため、入所後は、ご家族様とメールや電話、ビデオ通話等のツールを活用し、入居者様とご家族様の関係を築くよう努めていた。また、ご家族からの意見や入居者様からの意見があった際はパイプ役となり連絡の架け橋となるよう努めている。			
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	馴染みのある背景を把握し、知人・友人の訪問、電話での会話、ビデオ通話等を活用し今までと変わらない人間関係が継続できるよう努めている。また、車にてドライブに行くことで、馴染みの場所を思い出したり、話が出やすい環境づくりに努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.1票 B.5票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
21		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の関係性を把握し、ホーム内での役割を協働できるよう心がけている。入居者様同士の自由な交流を見守りながら、相性の良い方同士で過ごせるようリビングの席の配慮をしている。時には職員が介入することでスムーズな人間関係を構築できるよう努めている。			

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
22		関係を断ち切らない取組	サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に強めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約を終了しても、入居者様の状態やご家族様の状態を出来る限り把握し、不安な事や相談があった際は連絡して頂ける環境づくりに努めている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
23	9	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご家族様からの情報や生活歴などを参考にし、日々の生活の中での入居者様の表情やしぐさや発言等から、本人の希望や意向を汲み取り、把握できるよう努めている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.1票 B.5票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
24		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	担当ケアマネジャーから情報提供をして頂いたり、入所前の面接や入所後も随時、本人、家族に確認を行ない把握に努めている。入居時には、居室になるべく自宅で愛用していた物を揃えて頂きたい事を家族に説明し、協力を得ている。			
25		暮らしの現状の把握	一人ひとりの過ごし方、心身状態有する力等の現状の把握に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一日の過ごし方や日々の心身状態を確認し、本人の有する能力・機能を発揮できる機会をつくれるよう努めている。サービス担当者会議や職員会議、申し送り等でも必要に応じ検討し、情報共有・現状の把握に努めている。			
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	居室担当を中心にコミュニケーションを図り、本人が望むことの把握に努めている。本人、ケアマネジャー、担当職員が話し合い必要に応じてご家族様にも助言を頂きながら介護計画を作成している。作成した介護計画は家族にも説明を行い了解を得ている。3ヵ月に1回サービス担当者会議(必要時には随時)、モニタリングを行っている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.0票 B.6票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
27		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々の様子、ケアの実践、食事量、処置の有無等を個別に記録している。介護計画を簡素化した物を「経過観察表」の中に反映することで、介護計画に沿った記録も心がけている。日中から夜間、夜間から日中の申し送り時間を設け日々の情報共有に努めている。介護計画の見直しについては、個人の記録を参考に実施している。			
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	近隣にある同法人(介護福祉施設)の看護師や嘱託医と医療面での連携、協力体制ができている。また、状況によっては通院、薬局等への支援も積極的に行っている。			

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
29		地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は地域での花祭りや自治会の秋祭り、大学生や地域のボランティア、同法人施設等と協力し、暮らしを楽しむ支援をしていたが、コロナ禍の影響により開催できなかった。今後状態が落ち着いたら再開していけるよう検討していく。	現在は自治会でもイベントがほぼ中止になっているとのこと。また開催の際は書面にてご連絡頂ける予定となっています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医は本人、家族の希望を尊重している。また、家族の都合でかかりつけ医の変更があった場合は委託医等に話し変更できる体制がある。受診については家族と連携しながら書面や電話等で服薬状況や症状変化等の情報提供も行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.6票 B.0票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
31		看護職員との協働	介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師を常駐していないので、必要時は同法人施設(介護老人福祉施設)の看護師に相談を行っている。状況によっては応援を頼める協力体制も整っている。			
32		入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時に情報提供を行っている。また入院中も家族、病院関係者(医師、看護師、相談員等)と連絡を密にとり入院期間の目途及び課題を共有し、サービスが円滑に再開できるように連携を図っている。また、退院後の経過状況も病院と連携を持ち、アンケート等に協力し関係作りにも努めている。			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に家族へ重度化した場合の対応等を説明し、実際に重度化した場合は、本人や家族の意向を尊重しながら、早い段階から囑託医と相談し、本人の状態から最善の支援方法を検討し、希望に沿った対応を行っている。終末期の対応については、家族の希望により看取りを行った事がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.5票 B.1票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
34		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練は行っていないが、急変や事故発生時の応急手当、初期対応を具体的に記したマニュアルを職員が目にしやすい場所に掲示し、職員全員に配布している。また、急変時は管理者に報告し、囑託医に報告し指示を仰いでいる。			
35	13	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1回避難訓練もしくは通報訓練を実施している。市のハザードマップや防災マニュアルを作成し職員間で共有している。備蓄品はリストを活用して、準備し消費期限等も定期的にチェックしている。今後は運営推進会議にて近隣住民も含めた防災訓練の開催を検討している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.1票 B.5票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	人生の先輩であることを忘れず、信頼関係を築いた中でも丁寧な言葉遣いに対応している。また、常に入居者様へ敬意を持って接している。各居室に訪室する際にも本人に断りを頂いている。また、施設見学者に対しても守秘義務に関する説明をし同意書の記入を行って頂いている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.1票 B.5票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援	日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様が自己選択、自己決定ができるような環境作りに努め、本人の自由な思いを尊重し対応している。			
38		日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々行う行事やレクリエーション等の声掛けを職員が行い、参加するかは本人の希望を尊重している。ケア方法についても職員会議等で検討し、利用者本位の支援の提供に努めている。			
39		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入浴の際には、ご本人に衣類を選んで頂いている。コロナ渦で最近来苑できていないが、希望者がいた際は訪問美容院に依頼し、施設内でカラーやパーマ、カット等を行って頂いている。髭剃りや爪切りも意識し、声掛けを行いながら随時行っている。			
40	15	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各自の好みや制限を一覧表に掲示し全職員が把握している。月に1回季節の行事食や食べたいものの希望を聞き献立に取り入れ提供している。パンが好きな方もいるので、月数回パン食の日も設け提供している。希望があれば嗜好品も購入し希望時提供している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.5票 B.1票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
41		栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食材と献立は業者に委託し、栄養管理がされている。献立によっては職員がご利用者の好みに合わせて調理している。1日の食事量は記録し、職員間で共有している。水分不足にならないようゼリーや好みの飲みものを用意し提供時間も工夫しながら支援している。			
42		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食後の歯磨き、義歯の手入れを個々の能力に応じて必要な部分は支援し、口腔内の清潔を保っている。口腔ケア用品は定期的に洗浄交換を行っている。状態によっては舌ブラシや洗口液を使用して頂いている。また、必要に応じご家族に報告し歯科受診を勧めている。			

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
43	16	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	排泄データ及び日常の観察を通して排泄パターンを把握し、定期的なトイレ誘導や声掛けを行っている。便秘については水分量や運動、必要に応じて嘱託医に相談し内服薬にて調整する等、排便コントロールを行っている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.6票 B.0票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
44		便秘の予防と対応	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日ラジオ体操や散歩など適度な運動を実施している。また、毎日牛乳を摂取して頂いている。排泄チェック表を確認し、排便コントロールは、一人ひとりの状況に応じて対応している。			
45	17	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入浴の希望を確認し、本人の希望に沿うように努めている。少なくとも週2回入浴できるように配慮しているが、無理強いくことなく本人の体調や様子を見て誘導している。また、入浴の際は一人ひとりのペースに合わせ、入浴剤等も活用しながら楽しんで入浴して頂けるよう支援している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.5票 B.1票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
46		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	居室は好きな時に休めるようベッドメイキングしており、清潔な心がけている。夜間、眠れない際はリビングにてTVをみたり、希望に応じて飲みものの提供、話を傾聴することで、安眠への支援をしている。また、生活歴等から一人ひとりの生活習慣を把握し安心して眠りや休息がもてるよう支援している。			
47		服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの薬の説明書を個人記録にファイルし、職員全員で共有し理解している。薬については事前に薬のセットミスが無い確認し、内服前には二重チェックを行い誤薬などないように努めている。また、確実に服薬できるよう内服完了まで見守りを行っている。			
48		役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活歴や担当ケアマネージャー、ご家族様からの情報提供により一人ひとりの性格や趣味、出来ることを把握し、経験や知恵を発揮して頂き、それぞれの役割が持てるよう支援している。現在はコロナ禍の為、外出はできない状況ではあるが、苑庭の散歩、園芸作業、四季折々の行事、レクリエーション等、気分転換ができるよう支援している。嗜好品の購入においても、本人の自由を尊重し職員が代行し購入している。			
49	18	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	現在はコロナ禍の為、施設としての外出はできていないが、希望時等は苑庭を散歩したり、車にてドライブに行ったりと出来る範囲で外に出る機会を設けている。また、受診については極力薬のみとし、外出も控えて頂いているが、状況、状態によっては本人、ご家族様にしっかりと感染予防を行って頂いたうえで受診や外出等行っている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.0票 B.0票 C.2票 D.4票 記述は別紙参照

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
50		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人の希望を尊重し、所持して頂いている。個人での管理が難しい方については、ご家族と相談のもと施設金庫にて預かり、必要に応じて好きな時に使用できることを説明し、理解して頂いている。希望時は職員が代行し買い物にも行っている。			
51		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご家族様やご友人との手紙のやり取りをしたり、電話をすることができるよう配慮している。コロナ渦の中、支援ツールを広げ、メール、ビデオ通話も行っている。また、個人の携帯電話の持ち込みも可能なため、持参されている方は好きな時に電話も行えている。			
52	19	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	イベント時の写真や、習字などの作品、貼り絵等の季節の掲示物を展示し、生活感や季節感を取り入れている。観葉植物や生花を飾り、色やにおいを楽しめるようにしている。居室については家具の位置に配慮し、移動の妨げにならないよう配慮している。トイレ内は常にチェックし、清潔を維持し、香りにも配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.5票 B.1票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
53		共有空間のにおける一人ひとりの居場所づくり	共有空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ソファや椅子、テーブルの配置を考慮し好きな場所で自由に過ごせるよう配慮している。また、入居者様同士がお互いのお部屋を自由に行き来できる環境作りができている。			
54		居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各居室にエアコンが設置してあり、本人の希望に応じた快適な空調管理をしている。掃除は出来る範囲で本人と職員が一緒にを行い、清潔を保っている。入居時に自宅で愛用していた家具等を持ってきて頂き、個々に居心地よく過ごせる空間となるようにしている。プライバシー配慮の為、ご利用者に合わせ入り口のにれんを設置している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.1票 B.5票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各所に手すりや椅子を配置し、安全な環境作りをしている。事業所理念でもある「可能性を引き出すケア」の実践のため、一人ひとりの「できること・わかること」を考え、自立した移動や行動のために物の配置の配慮や動線の確保等、職員の意識の向上に努めている。			

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
VI. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）								
A		本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自己選択、自己決定ができる場面を多く取り入れるよう努めている。また常にコミュニケーションの機会を持ち入居者様が自分の思いを伝えられる環境を整えている。			
B			本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活歴や担当ケアマネージャー、ご家族様からの情報提供により一人ひとりの性格や趣味、出来ることを把握し、今までの生活習慣を継続することができるように努めている。本人の習慣を大切にし本人の希望に添えた生活ができるよう心がけている。			
C	○		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	体調や感情の変化に気付けるよう心がけ、事業所理念でもある「可能性を引き出すケア」の実践の為、一人ひとりの出来る事、わかることを考え能力に応じた行動の見守りを行い自立支援に努めている。週に一回嘱託医の回診があり、状況報告を行い必要に応じて指示を仰ぎ体調管理にも努めている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.0票 B.6票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
D		生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ソファや椅子、テーブルの配置を考慮し好きな場所で自由に過ごせるよう配慮している。自室で食事を食べたり、好きな時に臥床することできるよう、居室の温度管理、清潔にも努めている。			
E	○		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時に自宅で愛用していた家具等を持ってきて頂き、個々に居心地よく過ごせる空間となるようにしている。日々の生活の中でご自身が作成した作品も希望に応じて飾っている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	A.0票 B.6票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
F			本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナの感染予防を第一と考え通院等、最小限の外出になっている。その中でも少しでも外出する機会を設けることが出来るよう、苑庭の散歩や車でのドライブ等を行っている。			
G			本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活歴や担当ケアマネージャー、ご家族様からの情報提供により一人ひとりの性格や趣味、出来ることを把握し、経験や知恵を発揮して頂き、それぞれの役割が持てるよう支援している。現在はコロナ禍の為、外出はできない状況ではあるが、苑庭の散歩、園芸作業、四季折々の行事、レクリエーション等、気分転換ができるよう支援している。嗜好品の購入においても、本人の自由を尊重し職員が代行し購入している。			

自己	外部	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
H	○	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様本人が思いを伝えることができるような配置や雰囲気作りに努めている。日々の活動(体操やレクリエーション、イベント等)については自由に参加できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.0票 B.6票 C.0票 D.0票 記述は別紙参照
I			本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	コロナ渦の為、地域の人々との関わりは難しい状況である。今後コロナの状況をみて昔の職場であった近隣の学校の訪問や自治会のイベント、祭り等の参加を再開したいと考えている。			
J	○	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的で落ち着いた雰囲気の中、食事、洗濯、掃除等の日常生活を職員と一緒にしながら、信頼関係の構築に努めている。今後コロナの状況をみて各種イベント、祭り等の参加を再開し、地域の方々との交流も増やしていきたい。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A.1票 B.4票 C.1票 D.0票 記述は別紙参照